

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社ケイハン 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地 JFEスチール株式会社福山地区

(3) 業種

1799 その他石油製品・石炭製品製造業

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、令和3年度から令和7年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1.理念

当工場は、環境保全を重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め環境への負荷の低減を推進する事により持続可能な社会づくりに貢献しまた地域社会との調和を目指します。

2.方針

- 1) 当工場が環境に与える影響を的確に捉え、環境保全活動の継続的な改善を図ります。
- 2) 環境関連の法律、条例、協定および取決め事項を遵守するとともに省エネルギー、省資源、リサイクルを含む環境汚染の予防に努め環境と調和した活動を行います。

3.社員への教育と啓発を実施し、環境意識の向上を図ります。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成29年度	令和2年度
二酸化炭素	18,241	15,911

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

kg-CO<sub>2</sub>

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成29年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和14年度)		
	排出量 t-CO <sub>2</sub> (a)	原単位 数値 t (b)	原単位 Kg-CO <sub>2</sub> /t (c)	削減率 % (d)	排出 見込量 t-CO <sub>2</sub> (e)	原単位 見込数値 t (f)	原単位 見込 Kg-CO <sub>2</sub> /t (g)
エネルギー起源CO2	18,241	727,600	25.07	16.0	16,000	758,000	21.11
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	18,241	727,600	25.07	16.0	16,000	758,000	21.11
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	25.07	100.0	-	-	
目標設定の考え方	基準年度から原単位1%削減目標を置き、目標年度までの16年間で16%の削減						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	LED照明の更新	電気使用量1.7kL/年削減	LEDランプへの更新（25台/年）
2	蒸気使用量の削減	蒸気使用量10kL/年削減	蒸気ラインドレントラップの更新（10台/年）
3	設備の更新	電気使用量6.0kL/年削減	スクレーパーコンベア撤去工事
4	設備の更新	電気使用量0.1kL/年削減	モーターインバータ化

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

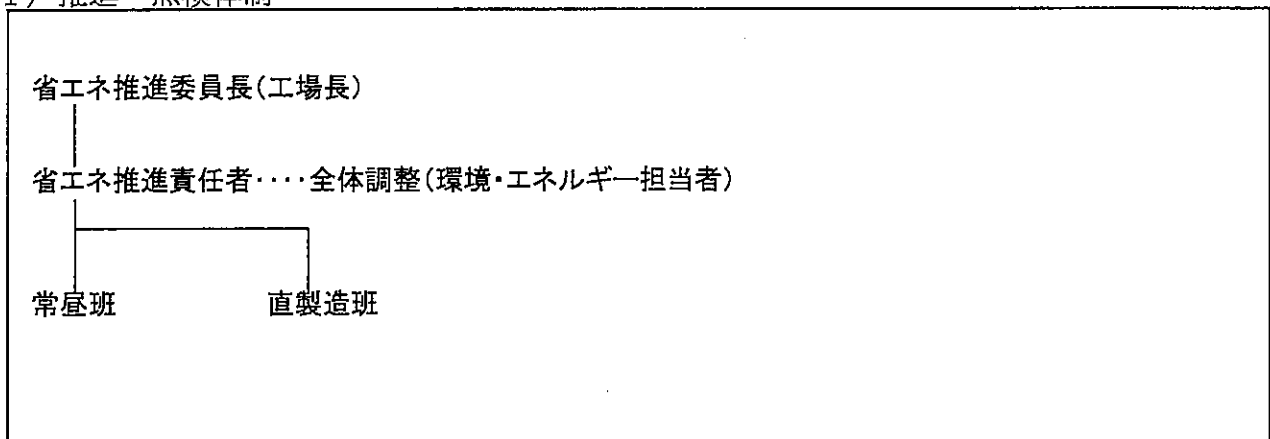
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	リサイクルの促進	製紙スラッジの9900 t/年のリサイクル	製紙スラッジの成型と製鉄所内使用
2	同上	DRI粉・ラグーンスラッジ 27000 t/年のリサイクル	DRIBQの成型と製鉄所内使用
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

月ベースで所内排出量を算定し、取り組み状況を把握する。  
また、定期的に評価・見直しを行い、継続的な向上を図る。

### (3) 計画書等の公表

事業所内で閲覧する。